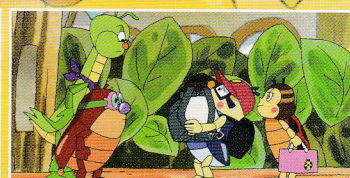


むしむし村の 仲間たち

みんないいところあるんだよ



企画意図

外見や能力が異なるむしむし村の昆虫キャラクター達。時には、それぞれの違いが原因で相手を傷つけたり、自分なんてダメなんだと悩んだりもします。でも、誰でも苦手なこともあれば、得意なこともあります。大切なのはお互いの違いを認め、相手の気持ちを思いやること。そして仲間と助け合っていくこと。そんなことを、子供達が楽しく学んでいけるアニメーション作品です。



東映株式会社 教育映像部

〒104-8108 東京都中央区銀座3-2-17
<http://www.toei.co.jp/edu/>

上映時間13分 [C#2111]

DVD 66,000円(本体価格)

内容

ホタルのゲンジは学校に通う途中で、カマキリのカマジローとゲンゴローに自分達のランドセルを持たされてしまいます。てんとう虫のナナミが止めに入ると、ゲンジとナナミのカバンはカマジロー達に取り上げられ、他の生徒達とパスし合って返しません。これに気付いた蝶々のアゲハ先生は、カブトや校長とも相談し、みんなを丘の上に連れて行き、話し合わせることにしました。



丘の上まで目指しながら、みんなの歩くペースについていけないゲンジを、カマジロー達が責め立てます。それを見たアゲハ先生は、ある女の子の話を始めました。その子はおイモと呼ばれる子で、動作が遅いことで周りから意地悪をされ、自分のことも「どうせ私なんて…」と卑下していました。そんなおイモをカブトや先生が、「おイモちゃんは素敵なものを持っているじゃないか。それはね、相手の気持ちを考えることの出来るやさしい心だよ」と励まします。



その話を聞いて、それぞれ意見を出し合うむしむし村の生徒達。「相手の気持ちなんてわかって意味ない」と言うカマジローに、ナナミは「私おイモちゃんと友達になりたかった」と言います。その時突然、空が真っ暗になってしまいました。怖くなったカマジローとゲンゴローは泣き出してしまいます。すると、ゲンジが決意の表情で顔をあげました。「みんな！ 僕が明るくするから、怖がらなくてもいいよ」



ゲンジの行動に勇気付けられ、カマジローやゲンゴロー達も自分の得意なことを活かし、みんなと協力し合って、無事学校に戻ることが出来ました。むしむし村の生徒達は気付いたのです。おとなしくて弱虫だと思っていたゲンジが、とてもやさしい心の持ち主だということ。これからは相手の気持ちを思いやり、みんな仲良くしていくんだと、子供達の笑顔のあふれるむしむし村に、今日もまた夕陽が美しく照らされていきました。



プロデューサー 光田雅樹
アニメーションプロデューサー 沼田かずみ
音響監督 沼田心之介

演出 雄谷将仁
脚本 平柳益実
音楽 笠松美樹

アニメーション制作 株式会社トマソン
企画・制作 東映株式会社 教育映像部

予告編配信中!

<http://www.toei.co.jp/edu/>

教育映像

検索

2017年作品 s

●お買い上げは、

北辰映像株式会社

埼玉県さいたま市緑区三室2190-2 〒336-0911
電話048-810-5277 Fax048-876-2955